

赤字解消のための現場改善・生産性向上支援

会社名 株式会社マエダ(石川県)

昭和28年創業。東京都大田区の本社工場及び石川県能登中核工業団地内の工場にて事業を展開。非鉄合金鋳物部品製造、特にアルミニウム合金鋳物を主要製品とする。

1. 相談のきっかけ

- ・数年前から続く赤字経営に悩んでいた本企業は、(公財)石川県産業創出支援機構の巡回指導を受診。
- ・本企業は平成26年8月に巡回指導員と話をし、よろず支援拠点に相談したいとの希望を持ち、よろず支援拠点の紹介を受けた。

2. 課題整理・分析

- ・受注が十分にあるにもかかわらず、利益が出ない。
 - ・納期遅延や不良品の発生が頻発している。
 - ・工場が整理整頓されていないため、工場内部の視認性が悪く、他の工程の進捗状況が確認できない。
 - ・生産予定と実績の管理が正確にされていない。
- ⇒QCDの改善のために、現場改善と生産性向上の取組みが急務であった。

3. 解決策の提案

- 【他専門家と連携した生産性向上支援】
- ・生産の予定と実績を管理して社員全体で情報を共有する体制を整備する必要性を助言。
 - ・一体的な支援体制を構築するため、品質管理と5Sの専門家を派遣できるよう、よろず支援拠点を通じた専門家派遣制度活用を同時に提案。
 - ・専門家とチームを組んで、現場改善・生産性向上について助言。



4. 成果

コーディネーターと専門家とが昨年度に工場を定期的に訪問した結果、今年度に入って以下の成果が出ていることが分かった。

- ・工場内部の整理整頓の促進⇒作業現場内のスムーズな動線確保と作業効率の向上
- ・社員が日々の生産の予定と実績とを売上ベースで確認することができるようになったため、社員のモチベーションと一人あたりの作業水準が向上。
- ・さらに、社員全員が工場内部を見渡せるようになったため、結果として社員が遅れている他工程を適時応援することができるような体制が実現。

⇒そのため、生産性が向上したことで、解決策提案前の水準であった、月商約600万円が、約700万円に向上した。



改善前



改善後